

# 令和3年度 学校関係者評価報告書

令和4年3月17日

学校法人光明学園

認定こども園 月かげ幼稚園

## 1、教育目標の重点

目標 仏教精神にのっとり、よき社会人としての基礎を育成する。

信条（三宝）

・私たちは仏様のよい子になります。（仏）

【慈心不殺】生命尊重の教育を行う＝命、物を大切にす

・私たちは約束を守ります。（法）

【仏道成就】正しきを見て絶えず進む教育を行う＝学ぼうとする意欲

・私たちはみんな仲良くします。（僧）

【正業精神】よき社会人をつくる教育を行う＝根気

## 2、本年度重点的に取り組む目標、計画

R4年度に開催される東北地区教員研修大会公開保育に向けて保育の見直しを計り、乳児部から幼児部へのスムーズな接続について取り組む。

①保育教育環境の見直し

②保育者としての役割・資質向上を図る

## 3、自己評価の結果と取り組むべき課題

A 非常に良い B 良い C 普通 D 悪い

	A	B	C	D
・教育環境				
①活動の環境を創る時には、指導計画を意識している。	3	12	5	2
②幼児の動きや視線の動きに気を配った構成をしている。	3	16	3	0
③幼児の思いや言動を参考にしながら、保育室の装飾や展示を考えている。	3	12	5	2
④自然や社会とかかわりを持てるような体験を取り入れるようにしている。	2	14	6	0
⑤環境の構成について、先生方の中で積極的に意見交換が行われている。	9	11	1	1
⑥年齢の異なる幼児が、触れ合えるような環境構成をしている。	2	10	10	0
・役割・資質向上				
①一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている。	4	17	1	0
②すべての幼児に平等に接するように心がけている。	5	15	2	0
③その場にふさわしい言葉遣いができる。	2	13	7	0
④園内研修について職員全体で共有している。	5	10	5	2
⑤子どもたちの手本となるよう日常生活から気を付けている。	2	14	6	0
⑥保護者との信頼関係が出来ている。	2	12	7	1
・その他				
①継続した育ちを考慮し乳児部と幼児部の自然な関わりと連携が行われている。	2	3	15	2
②新型コロナ感染防止の為の対策、対応等を適切に実施している。	5	13	4	0

## 反省点

- ・乳児部から幼児部への進級においての課題 保育感、教諭のかかわり方にズレを感じる
- ・パートの先生方が退勤後の職員体制
- ・園内研修での乳児部と幼児部の情報共有や共通理解は深まっているが、それを踏まえての子どもたちの活動や触れ合いはまだ少ない
- ・子どもの主体性を育む保育を目指す中で、これまでの活動や行事の見直しがまだ必要
- ・教育環境や教育内容についてじっくり考える時間が持てなかった
- ・子どもの発達段階に応じた遊びの提案、設定、準備が出来ていなかった

## 対策

- ・乳児部、幼児部、正職員、非常勤の区別ない合同研修の開催
- ・普段から情報交換の場としての合同会議の開催
- ・環境や子どもの情報交換、行事等の意見の交換の場としてのプレストの開催
- ・職員体制の再点検
- ・子どもの主体性を育む保育を園全体で一丸となって取り組んでいく

## 4 保護者アンケートの結果と取り組むべき課題

アンケート結果 ※別紙

保護者からのご意見

- ・第二駐車場の利用の仕方の徹底 特にコスモスポーツのある火曜日
- ・園だよりの内容について

## 改善点

まず始めにアンケートに際し沢山の温かいお言葉を頂戴いたしました。新型コロナの影響もあり保護者の方々とじっくりお話をする機会も減ってしまいましたが、園の活動に対しご理解とご協力をいただいていることに心より感謝申し上げます。今後も責任をもって子どもたちの保育にあたってまいります。

- ・第二駐車場利用に関しては、昨年度末に周知徹底を図るべく、手紙の配布をさせていただき、利用に関する看板を設置させていただきました。ところが火曜日の夕方、放課後コスモスポーツがある日の混雑と利用法について複数のご意見を頂戴いたしました。コスモスポーツ利用保護者には先日改めて出入口の徹底と場内の一方通行、横断箇所について手紙を配布させていただきましたが、混雑に関しましてはぜひお互いに譲り合っただけの利用をお願いいたします。その他のご意見も参考に今後改善に努めてまいります。
- ・園だよりの内容や連絡等に関して1号、2号の区別が分かりにくいとのご指摘をいただきました。園だよりに関してはより分かりやすく改善していきたいと思います。
- ・その他にも多数の貴重なご指摘をいただきました。今後職員一同、気持ちを引き締め保育に臨んでまいります。

## 令和3年度 保護者アンケート集計結果

送信数 179(回答数:146)

	設問	1: 非常に良い	2: 良い	3: 普通	4: 悪い
設問1	園は教育目標や教育方針、日常の教育活動の様子などをわかりやすく伝えている。	70	62	14	0
設問2	園は仏教に基づいた情操教育を行い、感謝できる心を育てている。	92	49	5	0
設問3	園は遊びを中心とした体験的な教育に取り組み、集団のきまりや自主性・創造性を育てている。	81	62	3	0
設問4	園は体を十分に動かす運動遊びなどを通して、子どもたちの健康な心と身体づくりを行っている。	84	55	7	0
設問5	園は自然とのかかわりを大切にし、体験的にいのちの尊さや、驚きや感動などの感性や知性を育てている。	92	49	5	0
設問6	園は絵本の読み聞かせを大切にし、心豊かな人間に育つよう努めている。	90	48	8	0
設問7	園はあいさつや身の回りの始末など、基本的な生活習慣を身につけ、生活できる様に指導している。	81	60	5	0
設問8	園は保育の環境を整えたり、教材の選び方など保育指導に創意工夫をしている。	60	64	22	0
設問9	園は子どもの発達に即した年間行事を工夫し、日常の保育活動・園行事などで特色ある教育を行っている。	76	60	10	0
設問10	園は子育て支援・保育参観・行事参加など、行きやすい雰囲気幼稚園づくりを積極的に行っている。	67	57	22	0
設問11	園では防災避難訓練など、園児の安全に関する適切な指導を行っている。	72	59	15	0
設問12	園では子どもの健康状態を把握し、健康管理について保護者に伝えている。	58	57	28	3
設問13	園は幼稚園の情報を園だより、クラスだより、ホームページ等を通じてわかりやすく保護者に伝えている。	80	46	20	0
設問14	園は子どものことや保護者の相談を聞く姿勢や体制をつくっている。	72	53	19	2
設問15	園の教職員は、来客・電話などの際、丁寧に対応している。	89	41	15	1
設問16	園の教職員は、協力し合いチームワークがとれている。	73	55	15	3
設問17	子どもが喜んで登園し、親しみやすい幼稚園と感じている。	101	36	9	0
設問18	園は新型コロナウイルス感染防止のための対策、対応等を適切に実施し、それらを保護者にもきちんと伝えている。	62	60	23	1

## 学校関係者評価委員会のご意見

### <こども園への移行に関する点>

- ・先生方の反省点を読むと忙しくて日々の仕事だけで精一杯のように感じた。こども園になる前はもう少しゆとりがあったような気がする。
- ・こども園になったばかりの時は先生方も忙しそうで声を掛けづらい雰囲気がありましたが、去年からは改善され先生方みなさんから明るくあいさつしていただけるようになり、三年目の今年さらに余裕が感じられる。
- ・こども園になってなかなか難しい所もあるかと思うが、いつまでも「月かげらしさ」がなくならなければいいなと思う。

### <自己評価の結果について>

- ・自己評価について先生方の評価が厳しいのは、「より良い教育を目指したい」という意思や意欲の結果だと思う。響きの良い言葉を並べた評価より、厳しさの奥に園に対する愛情を感じた。
- ・自己評価を見せていただくと先生方がよく子どもたちを観察し一人一人と向き合うことに力を入れてくださっていることがよくわかる。
- ・反省点に対する対策案も子どもを預ける側として安心できる内容である。

### <教育環境について>

- ・月かげ幼稚園はすごく自然とのかかわりを大切にしてくれている。
- ・手作り感がいたる所にあるのがとても良い。
- ・子どもが「やりたい」と思ったことをすぐにやれるような環境が整っていると感じられる。
- ・園だよりやクラスだよりに写真付きで子どもたちの遊びの様子を載せていただきとても分かりやすい。
- ・月かげ幼稚園はお便りがとても多いです。楽しみでもあるのですが先生方の負担になっているのでは。ペーパーレス化、デジタル化によって生産性の向上やSDGsの観点からも役立つのではないか。

### <問 17「子どもが喜んで登園し、親しみやすい幼稚園と感じている」について>

- ・問 17 の評価が高いことが保護者としても何よりも嬉しい。
- ・問 17 の評価が高いのは本当に素晴らしいこと。園児たちが「明日も幼稚園に行きたい」と笑顔になれるような幼稚園であり続けることを願っております。

### <コロナ対応について>

- ・コロナ禍でこれまで誰もが未経験の事態にも関わらず、その中でもご尽力いただいた。行事等の大部分が制限されているが、そんな中でも子どもたちのことを第一に考えていただいた。
- ・コロナ禍でも行事について毎回いろいろ工夫していただいた。
- ・月かげ幼稚園の伝統を守りつつ新しいことへの挑戦にも期待しています。